

CHIBUNEXT

チブネクスト

CHIBUNEXT 006 号 2024.6
社会医療法人愛仁会 千船病院
大阪市西淀川区福町3丁目2-39
TEL 06-6471-9541

産科における超音波検査について

産科で超音波検査を行う目的は、
①子宮内妊娠を確認する②胎児の
大きさから分娩予定日を決定する
③胎児の推定体重や形態を評価す
る④胎盤・臍帯の位置を評価する、
などです。妊婦さんやご家族にモ
ニター画面を通し、直接見えな
い「赤ちゃん」を実感して頂くことも

超音波検査は高周波数の音波
（超音波）を用い、体内の臓器
を可視化する検査です。放射線被
曝は無く、胎児を含め安全に検査
ができます。超音波検査は多くの
診療科で行いますが、特に妊婦さ
んを診る産科では必要不可欠な検
査です。

産科で超音波検査を行う 目的は？



産婦人科 部長
城道久

大事な目的です。超音波検査によ
り先天性心疾患（約1%の頻度）
など胎児の形態異常が見つかるこ
とがあります。その際は産婦人科
専門医が、時に新生児科医と共に
妊娠中・出産後のフォローについ
て詳しく説明しています。

安全な分娩のための 超音波検査

分娩時の「経陰超音波検査」
の有用性が近年報告され、千船病
院でも行っています。胎児の頭の
下降度は内診で評価しますが、「見
えない部位を医師や助産師の手で
評価する」ため、実施者により所
見の違いが出ます。特に分娩停止
などで吸引分娩を行う場合、胎児
の頭の下降度を正確に診断するこ
とが重要です。千船病院では滅菌
手袋を装着した超音波機器を会陰
にあてて胎児の頭の下降度を誰も
が見える形で評価し、安全ライン
（*）の位置の場合のみ吸引分娩
を実施します（吸引分娩が不可の
場合は帝王切開を選択します）。

安全な分娩を行う上でも、超音波
検査は有用です。（*千船病院で
は安全性を考慮し、文献より厳し
いラインを設定しています）

超音波検査 スペシャリストの育成

千船病院は2022年に日本超
音波医学会・超音波指導医が在籍
する研修施設に指定されました。
超音波検査を診療で活用すると共
に、新たな超音波専門医や超音波
検査士の育成に努めています。



北野クリニック

☎06-6471-2916

📍西淀川区出来島1-4-18

👤北野 英基 先生
北野 英人 先生

【診療科目】内科 / 外科 / 泌尿器科 / 脳神経内科 /
脳神経外科 / リハビリテーション科

【ホームページ】
<https://kitano-clinic.or.jp/>



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00	●	●	●		●	●
15:30~ 19:00	●	●	●	●	●	

千船病院連携医療機関

当院は地域医療支援病院として、開業医の先生方と
相互に協力・連携を図り、患者様が安心と満足を得
られる医療を提供できるよう、サポートしています。

金井クリニック

☎06-6476-5055

📍西淀川区出来島2-5-13

👤金井 俊雄 先生

【診療科目】内科 / 消化器科 / 肛門科 / 外科 /
リハビリテーション科 / 麻酔科

【ホームページ】
https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/kanaic/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00	●	●	●	●	●	●
16:00~ 19:00	●	●	●		●	

若杉診療所

☎06-6471-5104

📍西淀川区出来島2-9-5

👤若杉 太郎 先生

【診療科目】内科 / 外科 / 皮膚科 / 放射線科

【ホームページ】
https://nishiyodo-med.or.jp/medical_institution/wakasugi/



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00	●	●	●	●	●	●
17:00~ 19:30	●	●		●	●	

”緩和ケア”は、がんと診断された患者さまが抱える気持ちのつらさ、身体の痛み、仕事や家族の心配など、様々なつらさを緩和し、できる限りこれまでどおりの生活が送れるようになるためのケアのことをいいます。私は、緩和ケア認定看護師として、以下の活動を通じて地域のがん患者さまが、安心して治療と生活を送れるようにサポートを行っております。どんな小さなことでも構いませんので、お気軽にご相談ください。



緩和ケア外来

外来日：毎週月曜日 14時30分～16時の30分枠 要予約制

予約先：千船病院 電話予約センター

☎0120-279-025 (フリーダイヤル)

☎06-6471-9025 (スマートフォン・携帯の方)

相談内容：がんによる体の痛み、だるさ、食欲不振などの体の不調、心のつらさ、仕事や家族の心配事、療養先の相談など。緩和ケア担当の医師、看護師が担当いたします。



患者会 レインボーサロン

“レインボーサロン”は参加した患者さまが雨上がりの晴れ間から綺麗な虹を見た時のように、前向きな気持ちになれるようにと、命名していただきました。患者さま同士が思いや悩みを共有され、笑いあり、涙ありのアットホームな会です。開催のお知らせについては千船病院ホームページをご覧ください。

がん相談支援センター

がん療養におけるお悩みをお気軽にご相談ください。相談員が対応し、必要に応じて、医師・看護師などにお繋ぎします。ご家族からのご相談も受け付けております。

お問い合わせ先：☎06-6471-9541 (代表) 医療福祉相談科 がん相談支援センター

「ごあいさつ」

4月から千船病院に赴任しました消化器内科の医師 阪口博哉 (さかぐちひろや)と申します。消化管(食道・胃・十二指腸・大腸)の病気の診断と治療を専門としています。地域の皆様の健康に関して、少しでもお力になれるよう尽力いたします。よろしくお祈り致します。



消化器内科 博哉 長哉 阪口

当院の 消化管診療の特徴

今回は消化管に関わる診療・治療に関して、当院で力を入れていいる点をご紹介します。よろしくお願いいたします。

まず第一に、「悪性疾患に対する早期発見と治療」です。悪性疾患とはいわゆる「がん」を指します。2022年の厚生労働省のがん死亡率では、肺がんが1位であるものの、2位は大腸がん、3位は胃がんと消化管のがんが2種も入っています。大腸カメラ、胃カメラを受けることで発見されますが、早期がんの発見率は施設毎にばらつきがあることは否めません。当院では最新の内視鏡機器、AIによる診断補助システム、日々のカンファレンスや研究会で施行医の知識のアップデートを行っており、がんの早期発見に向けた府内トップレベルの環境を整えています。また、消化管がんの治療は、主に内視鏡的粘膜切除術(EMR)や内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)という治療を行います。私はこれまで

食道・胃・十二指腸・大腸の腫瘍に対して内視鏡的粘膜切除術(EMR)と内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を、合わせて約9,000件経験して参りました。よりよい治療を受けていただけるよう、今後も注力する所存です。

第二に、「食道良性疾患に対する診断・治療」です。当院には、「食道内圧測定器」と「pH・インピーダンスモニター」がございます。食道内圧測定器は、食道のぜん動運動をリアルタイムで測定できる機器です。また、pH・インピーダンスモニターは、食道に流れる液体の性質と状態を測定できる機器です。これらにより、逆流性食道炎や食道運動障害(食道の動きが悪くなる病気)が正確に判断できます。今まで食道のつまり感や胸焼け症状に対して治療を受けたものの、いまいち効果がなかった経験はありませんでしょうか。上記の検査を行うことで、病気の状態を正確に判断でき、個々の患者様にあった治療を行うことが可能です。また、治療も内服治療以外に、内視鏡治療から外科治療ま

で病状に合わせたあらゆる治療を揃えていますので、つまり感や胸焼けにお困りの際はいつでもお越しください。



<pH・インピーダンスモニター>



△食道内圧測定器▽

入院に関しても、診断が済み次第、翌週には入院できる体制を整えています。「うまい」「はやい」をモットーに消化管疾患の診断・治療を行っておりますので、どうぞお気軽に受診ください。